

GREEN ニュース

環境アドバイザー連絡協議会

代表 須永 徹

平成 30 年 1 月発行

「霧氷の赤城山」



赤城自然塾の「植生回復の為の覚満淵の笹狩り」プロジェクトに参加した後、午後から地蔵岳に遊びに行きました。少し時間が遅かったので霧氷は落ちているかと思いましたが、北東面には残っていました。

群馬県環境アドバイザーの動き

(平成 30 年 1 月 20 日現在)新規登録 118 名

第 10 期(登録期間:平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)です。新規登録者を含め平成 30 年 1 月 20 日現在、男 232 名 女 94 名、計 326 名です。

自然環境部会 76 名 温暖化・エネルギー部会 53 名
ごみ部会 44 名 広報委員会 20 名が登録し活動されています。
送付方法、メール 167 名 封書 158 名

群馬県の環境情報サイトに、

環境アドバイザーのページ開設



<http://www.ecogunma.jp/>

環境アドバイザーのページへ直接アクセスは、下記 URL へ

<http://www.ecogunma.jp/?p=3058>

目次(執筆者)

表紙画像・文 田中 和夫(高崎市)

P2 代表、副代表挨拶

P3 副代表、部会長挨拶

P4 ごみ削減フォーラム アンケート

P5 ごみ削減フォーラム アンケート

P6 ごみ削減フォーラム アンケート

P7 ごみ部会から

P8 ごみ部会から、環境政策課より



明けましておめでとうございます。

平素は地域や部会等での活動をありがとうございます。昨年は、ごみ減量フォーラムや県の環境フェア出展などに、皆様の多大なご支援を頂き成功裡に終えることができました。重ねて御礼申し上げます。さて本年は、それらの実績を更に具体的な活動へと進めていく大事な年となります。

特に“ごみの減量化”については、家庭からのごみをどう減らしていくかについて、皆様の知見を活かし地域のリーダーとして活躍していただかなければなりません。

一般廃棄物の出し方については、それぞれの地域ごとに若干の違いがありますので、どうしても地域に密着した方法を作り、広めていかねばなりません。環境アドバイザーとして、地域のごみ減量について、大いにリーダーシップを発揮しご活躍されることを願ってやみません。

本年も宜しくお願いいたします。

代表 須永 徹

新年（2018年）を迎え、あらためて、お目出とうございます。

さて昨年も会員の方々には自分なりに環境について活動を進められたと存じます。今年はそれにも増して、手を広げられ、点から面へと片手から両手にと活動を広げられ、地球の温暖化、気候の変動などで、いま世界各地で水害、台風、砂漠化が起こり広がっています。地球へのCO²排出を少しでも減らして地球の温暖化を防ぎましょう。それには子供に、地域の方々にも知って頂き、手伝って頂きましょう。

環境アドバイザーとして身の回りの小さなことから始め、市町村から県に国へと広めて行こうではありませんか？地域の群馬県環境アドバイザーとしての活動も広めてゆきましょう。

私も頑張ります、今年もよろしくお願い致します。

副代表 原田 邦昭

「アドバイザー活動を振り返り、心新たに更新登録して取り組みましょう」

あけましておめでとうございます。

本年も宜しくお願いします。

早いもので平成27年にスタートした第10期環境アドバイザーも今年の3月で更新時期を迎えます。この間、アドバイザー連絡協議会の副代表をとして協議会全体の運営、専門部会は主にごみ部会の企画・運営に関わってきましたが、力不足で皆さまのお役に立てなかったことをこの場を借りてお詫びいたします。

この3年間を振り返ると、地域や県全体でアドバイザーが集まりを持って活動（地域の会合＝地区会の開催、地区会として地域のイベントへの出展、市町村との連携、県イベントへの参加など）することが着実に増えています。また、県とアドバイザー連絡協議会共催による「みんなのごみ減量フォーラム」は、29年度で5回目を数えました。平成27年度からは、フォーラム観覧者も討議に参加する「パネルディスカッション」を組み込み、より充実したイベントとして継続開催しています。

2017年11月6日に公表された世界気象機関（WMO）の報告書には、『壊滅的な被害をもたらしたハリケーンと洪水、猛烈な熱波と干ばつを含め、多くの異常気象による甚大な影響が生じた2017年は、少なくともこれまでで3番目に暑い年となる可能性が高まっている。二酸化炭素濃度や海水面の上昇、海洋の酸性化といった気候変動を示す長期的指標の勢いは、まったく衰えていない。北極の海氷域は平年を下回り、これまで安定していた南極の海氷も、記録的な水準にまで減少している』とあります。地球温暖化対策は待ったなしです。

また、生活の足元を見れば、群馬県の一人一日当りのごみの排出量は全国ワースト3位、生活系ごみではワースト1位という状況です。

平成30年度は環境アドバイザーの登録更新の年です。更新にあたって自らの3年間の活動を振り返ると共に、現状の地球環境問題を再認識し、緑豊かな地球を未来に引き継ぐためにこころ新たに活動しましょう。

副代表 吉澤 敏則

平成30年・・・良いお年をお迎えと思います。

ただし、地球温暖化・環境問題は年々厳しい状況になっています。

私たちが取り組んでいる一つの群馬県ごみ減量問題も、残念ながら県民の意識の向上には程遠さを思い知らされております。

・・・とは言え、昨年から行っている「環境にやさしい買い物スタイル」のマイバックキャンペーンは地域の環境担当者との連携です。

なかなか日頃は見えない顔が見えて良かった・・・という声もあります。こんな小さな事から、少しずつ変わっていくことも必要だと感じました。

アドバイザーの皆様も是非、今年も「気づき」を感じる一年にしていきましょう！

副代表 野呂久子

平成30年の抱負

群馬県のステーションに出される燃えるごみの量は、一人当たり全国最多です。ごみ問題は、先ず関心を持ってもらうことが大事で、無関心こそが最大の問題だと思います。ごみ部会では、三切運動等ごみの減量につながるあらゆることをしたいと考えています。もちろん私たちには出来ることは限られていますが、継続は力なり、諦めないで続けてゆきたいと思います。本年もよろしく願いいたします。

ごみ部会 山田一朗

2018年の活動について

3月末でアドバイザー更新ですが、現在のメンバーはそのまま登録継続されるとして書かせていただきます。自然環境部会の機能としては以下を考えています。

- ① 会員の各地域での自然環境保護に関する活動の情報交換および共有。
- ② 会員の共同活動の場を設ける。その一例が高山村共有林の管理。
- ③ 会員の資質向上のための研修など。
- ④ 会員相互の融和のための行事。
- ⑤ アドバイザーの他の会員、および他の団体などとの交流。

- ① の目的で基本的に第二土曜日前橋元気21で例会を実施しています。

年度内は1月20日、3月10日です。

- ② 高山村の次回作業は4月中旬を予定しています。
- ③ 昨年行ったチノービオトープの見学会を春頃実施予定しています。他にも見学会、研修会などを考えています。
- ④ 3月24日(土)9:30 観音山ファミリーパーク「自然の森」観察会。
- ②、③、④、⑤については例会で相談したいと思います。

自然環境部会 田中和夫

平成29年度 みんなのごみ減量フォーラム アンケート集計
 参加143名(アドバイザー37名) アンケート提出95名

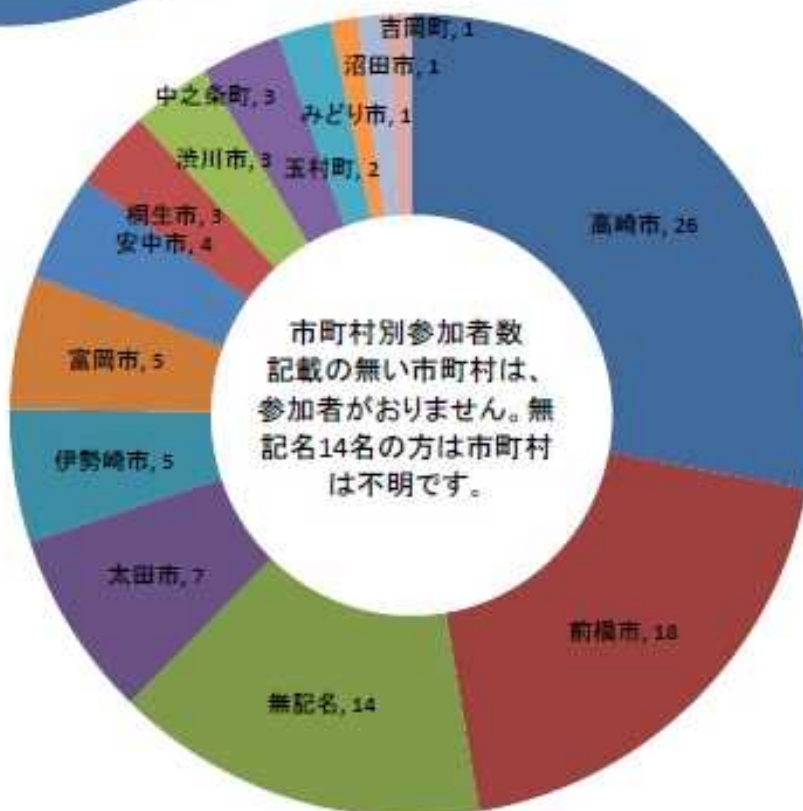
昨年9月15日の「みんなのごみ減量フォーラム」で行った参加者アンケートの結果を報告します。

女	48
男	45
無記名	2

70代以上	50
60代	18
40代	10
50代	10
30代	5
20代	1
無記名	1

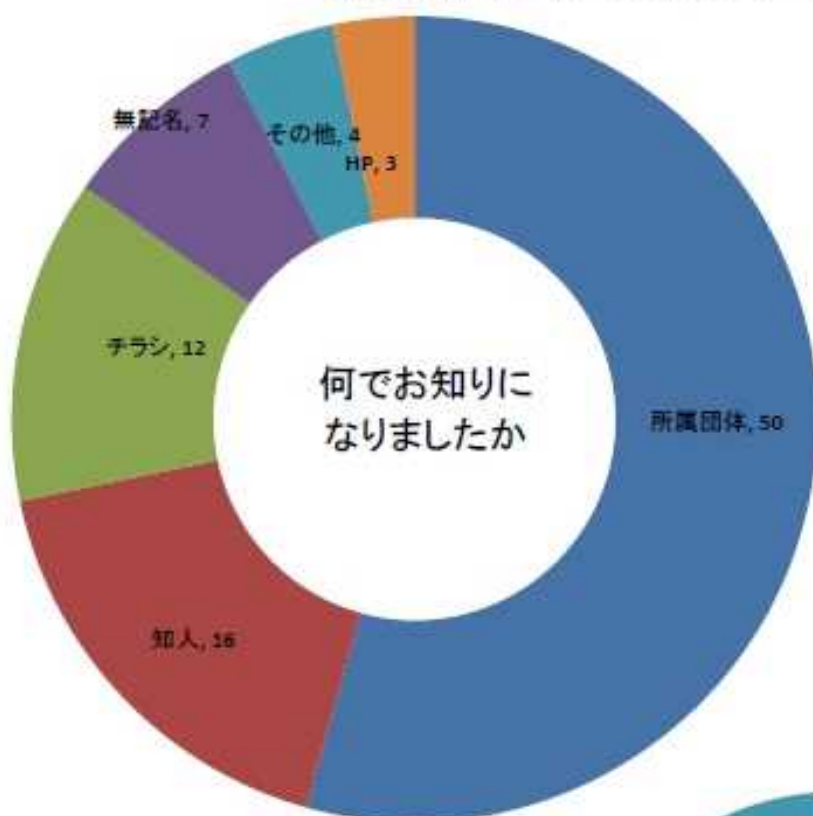


高崎市	26
前橋市	18
無記名	14
太田市	7
伊勢崎市	5
富岡市	5
安中市	4
桐生市	3
渋川市	3
中之条町	3
玉村町	2
みどり市	1
沼田市	1
吉岡町	1
草津町	1



平成29年9月15日(金)群馬県庁ビジターセンターにて13:30-16:00

平成29年度 みんなのごみ減量フォーラム アンケート集計
 参加143名(アドバイザー37名) アンケート提出95名



所属団体	50
知人	16
チラシ	12
無記名	7
その他	4
HP	3
新聞記事	2
広報誌	1
TVラジオ	0

アドバイザー	28
その他	26
県民	16
行政	12
無記名	11
環境カウンセラー	1
温暖化推進員	1
企業	0



3	5- 61名	4- 25名	3- 7名	2- 0名	1- 0名
	ごみ問題にどれくらい感心がありますか(回答無し2名)				

4	5- 53名	4- 17名	3- 15名	2- 5名	1- 3名
	群馬県のごみの現状についてご存じでしたか? (回答無し2名)				

5	知っていた 87名		知らなかった8名
	家庭のごみで生ごみをもっとも多い事を知っていましたか(回答無し0名)		

平成29年9月15日(金)群馬県庁ビジターセンターにて13:30-16:00

平成29年度 みんなのごみ減量フォーラム アンケート集計
 参加143名(アドバイザー37名) アンケート提出95名

6. 生ごみの80%は水分と言われています。家で生ごみの処理をどうしていますか？		④26名の堆肥化の方法	
10名	①生ごみをそのまま、ゴミ袋に入れてごみに出している	4	EMぼかし
50名	②水を絞ってからゴミ袋に入れてごみに出している	6	コンポスト
5名	③乾燥させてからゴミ袋に入れてごみに出している	0	電気式
26名	④堆肥化して家で使い、ごみは出さない	1	そのまま埋める
2名	⑤機材を使って発酵分解させて減量させごみに出して	16	無記名
2名	⑥その他		
0名	無記名		

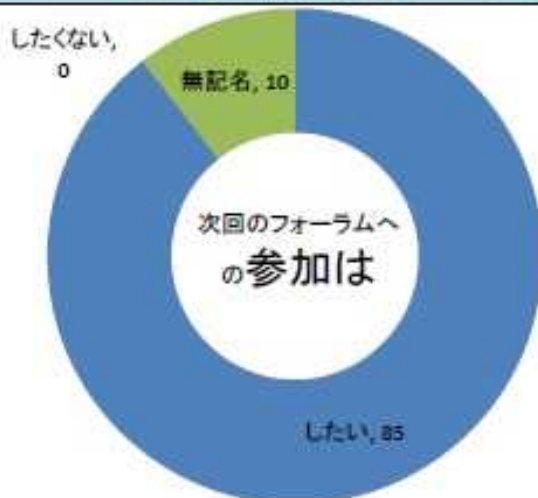
7. 庭の雑草や剪定枝はどのように処理していますか？		自宅の庭で出た物は、自宅の庭に戻しています
11名	①そのままゴミ袋に入れてゴミに出している	
42名	②数日乾燥させてからゴミ袋に入れてゴミに出している	太めの剪定枝はゴミで出し、細い物はコンポストに入れて、土にして畑に入れている
37名	③ゴミには出さずに、自家処理している	
3名	④その他	
2名	無記名	

8. 古紙を資源回収に出していますか？	
67名	①地域の集団回収に出している
11名	②行政回収に出している
11名	③スーパーのポイント回収に出している
1名	④資源回収に出していない
5名	無記名

9. 雑紙を資源回収に出していますか？	
61名	①地域の集団回収に出している
17名	②行政回収に出している
10名	③スーパーのポイント回収に出している
1名	④資源回収に出せることを知らなかった
6名	無記名

10. 紙ひもを使っていますか？	
32名	①使っている
35名	②使っていない
24名	③今後使いたい
4名	無記名

11	5- 54名	4- 19名	3- 10名	2- 3名	1- 0名
	フォーラムの感想 第一部 3R講演会 無記名1名				
	5- 33名	4- 23名	3- 18名	2- 5名	1- 2名
フォーラムの感想 第二部 ごみ削減事例発表 無記名14名					
5- 33名	4- 19名	3- 20名	2- 2名	1- 0名	
フォーラムの感想 第三部 パネルディスカッション 無記名21名					



参加したい	85
参加したくない	0
無記名	10

平成29年9月15日(金)群馬県庁ビジターセンターにて13:30-16:00

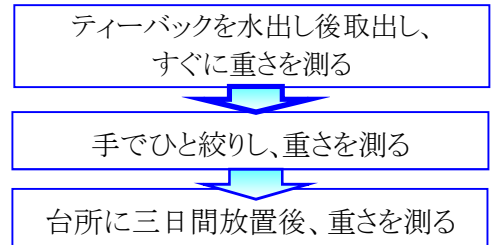
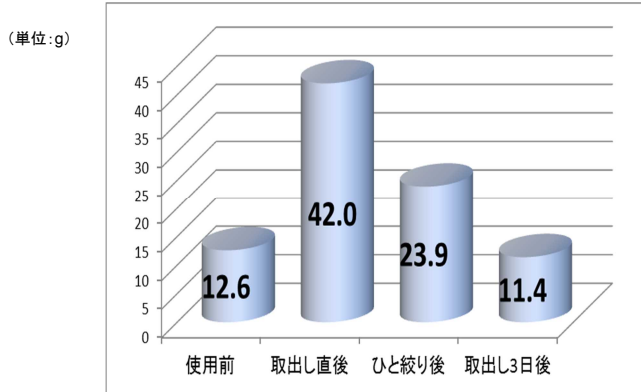
◇ 生ごみ類の水切り・雑草他の乾燥例の紹介 ◇

ごみ部会では、部会のメンバーが、麦茶パックや剪定枝、雑草を自然乾燥することでどのくらい重量が減少するか実験しました。そのデータを紹介します。

いずれも、数日自然乾燥させることで、重量が大幅（50%前後）に減少します。

- (1) 麦茶パックやコーヒーの粕は、水切り後3日放置すると重量が1/3～1/4に減少する
- (2) 剪定枝は、翌日には20%重量減、3日～1週間放置することでほぼ半減する
- (3) 雑草は、抜いた翌日にはほぼ半減。土を落とすと、3日後には、1/3以下に減少する
- (4) 生ごみは、放置翌日には15%減。3日後30%減、6日後にはほぼ1/3に減少する

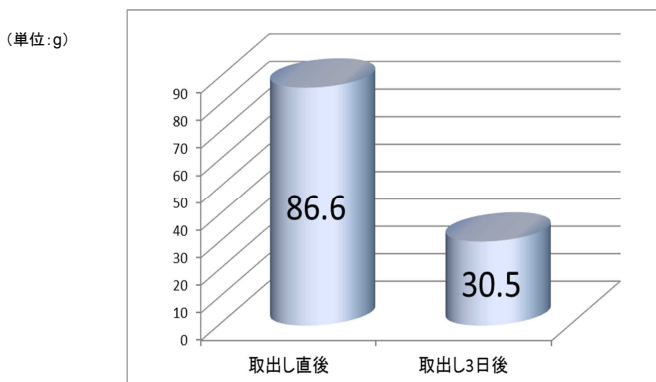
(1) 麦茶パックの水切り・乾燥 [安中市吉澤の取得データ]



ひと絞りで二分のーに減量、3日間放置でさらに半減。取出し直後の1/4に重量が減少

(測定日:平成28年10月2日～5日)

(2) コーヒーの粕の水切り・乾燥 [安中市吉澤の取得データ]



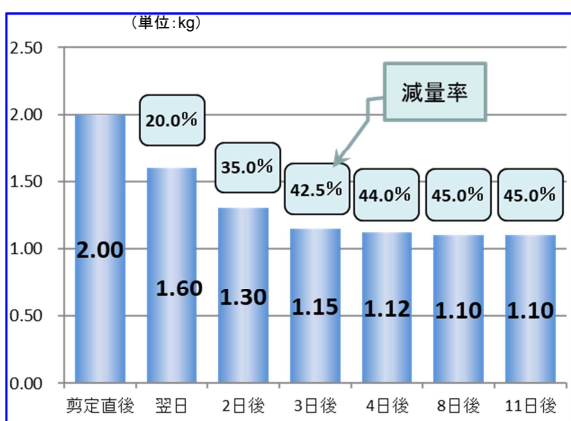
取出し直後
(水分をたっぷり
含んでいる)

取出し3日後
(水分が抜け、
フィルターも
乾いている)

フィルターから
取出した状態
(コーヒー粕が
サラサラに)

3日間放置することで、重量が取出し直後の1/3に減少(測定日:平成28年10月2日～5日)

(3) 剪定枝の自然乾燥による重量変化 [高崎市/藤森さん取得データ]

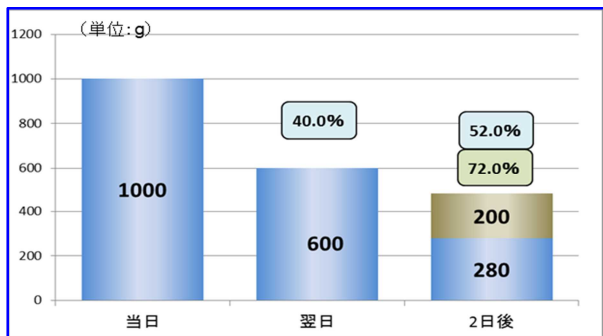


剪定翌日には20%重量減、3日後に40%減。11日後で45%減。木の種類、枝の太さによっても減量の程度は異なると思われるが、3日～1週間放置することで**ほぼ半減**する。

- ① 樹木：山茶花 ② 屋根のある南側屋外に放置
- ③ 草取り当日から7日間晴れ・曇り、8日目雨
- ◇ 測定月日：平成29年5月5日～16日



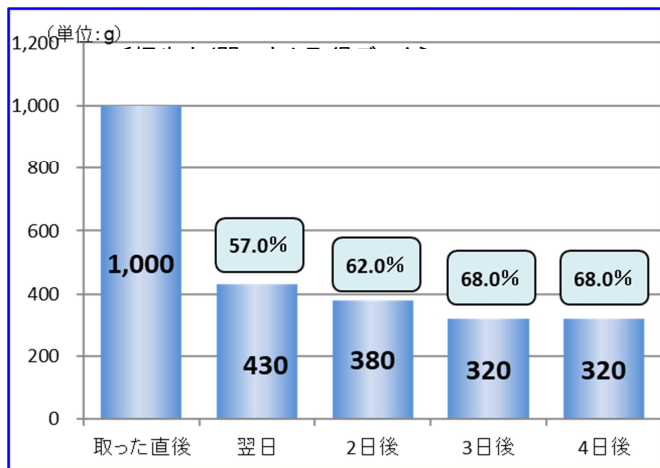
(4) 雑草の放置乾燥による重量変化-1〔高崎市/下田さん取得データ〕



刈取り翌日 40%の重量減、2 日後に半減。さらに土を落とすと 2/3 以上(72%)の減量

- ①雑草の土はつけたまま重さを測定
 - ②抜き取った雑草の通気を考慮
 - ③草取り当日から 2 日間は晴れ
- ◇測定月日：平成 29 年 4 月

(5) 雑草の放置乾燥による重量変化-2



草取り



直後



翌日

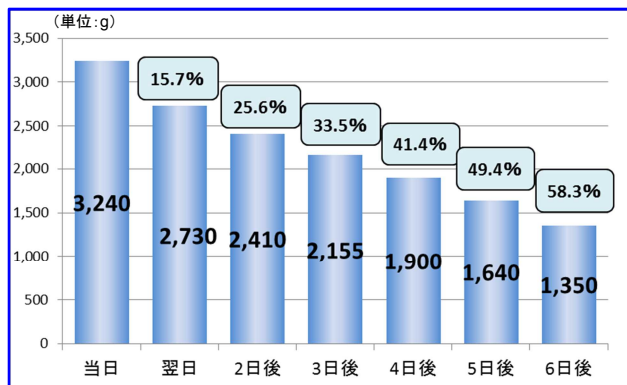


3日後

刈り取り翌日には、重量が半減(57%減量)。3日後には 1/3 に(68%減量)

- ①雑草の土は落としてから重さを測定、②抜き取った雑草に金網を敷き、通気を考慮
 - ③草取り当日から 4 日間は晴れ、5 日目が曇り
- ◇測定時期：平成 29 年 5 月

(6) 生ごみの放置乾燥による重量変化〔前橋市/福田さん取得データ〕



重量は、翌日に 15%減。3日後で 1/3(33.5%)減。6日後には約 60%減量

- ①測定対象：台所や家の中で発生する生ごみ(野菜くず、果物、花など)
 - ②11 日間の測定データを集計
 - ③虫対策として対象物を新聞紙で包む
- ◇測定時期：平成 29 年 5 月

②11 日間の測定データを集計

(アドバイザー連絡協議会 吉澤)

『群馬県環境アドバイザー第 11 期』が始まりますので、登録更新をお願い致します。



群馬県環境アドバイザー連絡協議会事務局 (県環境政策課)

担当：松原、登坂

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL：027-226-2827

FAX：027-243-7702

メール：ecosusumu@pref.gunma.lg.jp

編集担当 原田 邦昭